

研究・実践発表申込書

私は、研究・実践発表申込書に記載の通り研究・実践発表原稿を作成し、申し込みます。

西暦 年 月 日作成

ふりがな 氏名	所属する府県社会福祉士会名
	会員番号:
所属先名称	職種または役職
連絡先(自宅・勤務先)※どちらかに○をつけてください。	
〒 住所:	
<p style="text-align: center;">近畿ブロック大会 研究・実践発表申込 自己チェックリスト</p> <p>※必ず下記の項目について確認し、レ点を入れて、自己チェックをしてください。 (チェックがないものについては申込を受け付けられませんので、ご了承ください)</p> <p>倫理</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1 対象者の安全および人権の擁護、特に研究に関する知る権利、自己決定の権利に対する配慮ができています。<input type="checkbox"/> 2 個人情報や秘密の保持、写真の使用などプライバシーに配慮ができています。<input type="checkbox"/> 3 対象者に行った倫理的配慮を明記している。<input type="checkbox"/> 4 日本社会福祉士会研究倫理規程、正会員に所属する社会福祉士が実践研究等において事例を取り扱う際のガイドライン、研究倫理ガイドライン、論文等の投稿に関するガイドラインに反していない。 <p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1 原稿の冒頭には、タイトル、サブタイトル(任意)、発表者氏名・所属先・所属社会福祉士会・会員番号、共同研究者の氏名・会員番号・所属社会福祉士会が記載されている。<input type="checkbox"/> 2 本文は、研究目的、研究方法、論理的配慮、結果、考察、結論を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成されている。 <p>研究・実践発表原稿記載様式</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 1 原稿はA4版横書き、2枚で作成されている。<input type="checkbox"/> 2 ワードで作成されている。<input type="checkbox"/> 3 発表者氏名の前に「○」をつけてある。<input type="checkbox"/> 4 余白は、上下左右を25ミリ以上としている。<input type="checkbox"/> 5 フォントは明朝体細字10.5ptで作成されている。<input type="checkbox"/> 6 文体は「である調」で作成されている。 <p>レジュメ以外の発表資料の有無</p> <p><input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p>	

個人研究・実践発表原稿 様式 ①

氏名: _____ 会員番号 _____

研究方法: 文献研究 実証研究 量的研究 質的研究 実践研究
※研究方法について上記から該当するものを選び、チェックしてください。(複数可)

発表テーマ

発表希望分科会(一つ選択)

「権利擁護」・「生活構造」・「相談援助」
「地域支援」・「福祉経営」・「実践研究」

(分科会選択の理由)※発表内容は、別紙:発表要旨原稿に記入してください。

同様のテーマでの発表履歴: なし ・ あり →以下記入

原則、同一の内容を他学会等で発表したものは受け付けられません。ただし、都道府県社会福祉士会またはブロックにおける発表についてはこの限りではありません。

①発表年月, ②大会名など, ③タイトルを記入(発表者名は記入しない)

共同研究者: なし ・ あり→()名(共同研究者名は記入しない)

近畿ブロック奈良大会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項: なし ・ あり→以下記入

※枠内には発表者および共同研究者の氏名を記入しないでください

参考文献:

※おおむね以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫してください。

※日本社会福祉士会『研究誌』を参考にして記述してください。最新号をご確認ください。。